

科目責任者 山崎 紀子（薬学教育研究センター／地域医療学）

■教育目的

近年、自分自身の健康に責任を持ち、病気の予防および軽度な身体の不調は自分で手当てする「セルフメディケーション」が推進されている。この講座の中では、その推進には、地域医療における薬局薬剤師の役割が大きく関与していること、セルフメディケーションの意義、健康サポート薬局の役割、一般用医薬品と薬剤師のかかわり、顧客・患者とのカウンター業務等を学ぶ。本講座は一般用医薬品のみならずサプリメント、保健機能食品に関しても学び、セルフメディケーションを介して地域住民の健康に貢献できる薬剤師になるために、その知識、技能、態度を修得する。【卒業認定・学位授与の方針：YD-①～⑤】

■学習到達目標

1. セルフメディケーションの意義を説明できる。
2. 一般用医薬品と薬剤師の役割を説明できる。
3. 地域医療における薬局薬剤師の役割を説明できる。
4. 患者・顧客とのコミュニケーションの基本を実践できる。
5. サプリメント、保健機能食品に関してその役割を説明できる。
6. 一般用医薬品、サプリメント、保健機能食品等の情報収集を実践できる。
7. 患者・顧客主訴から適正な一般用医薬品を選択できる。
8. 患者・顧客主訴から適正なサプリメント、保健機能食品等を選択できる。

■準備学習（予習・復習）

予習：5年次の実務実習で習得したセルフメディケーションに関する知識・技能・態度を復習しておく。（30分）

復習：講義中に重要項目として解説・説明された箇所を臨床現場と結び付けて習得しておく。（30分）

■授業内容

No.	項目	授業内容	SBOコード
1～2	セルフメディケーション概論	セルフメディケーションの意義、健康サポート薬局の役割	B (1) -2-5 C18 (1) -1-1 C18 (3) -4-1
3～4	地域医療における薬剤師の関わり	地域医療・セルフメディケーションにおける薬剤師の役割	A (3) -5-1, 2 B (1) -3-5 C18 (3) -1-1 C18 (3) -4-1
5～6	健康保持と薬剤師	健康日本 21, サプリメント、保健機能食品等（演習）	C18 (3) -4-1, 3
7～8	トリアージと薬剤師 (1)	来局者からの情報収集、受診勧奨、一般用医薬品の選択等（演習）	C15 (2) -1-1, 2 C18 (3) -4-1～3
9～10	トリアージと薬剤師 (2)	来局者からの情報収集、受診勧奨、一般用医薬品の選択、来局者からの健康相談対応等（演習）	B (1) -3-5 C18 (3) -4-2
11～12	適正な一般用医薬品の選択 (1)	患者・顧客主訴からの一般用医薬品の選択情報収集・情報提供、患者データからの一般用医薬品の選択	A (3) -1-1, 2 A (3) -3-2, 4 C18 (3) -4-2
13～14	適正な一般用医薬品の選択 (2)	患者・顧客とのコミュニケーション、患者接遇（演習）	C15 (2) -1-1, 2 C15 (2) -2-7 C18 (3) -4-2
15	総合演習	まとめ	

■授業分担者

山崎 紀子 (No.1～2, 5～6, 15)、学外講師 (No.3～4)、宮沢 伸介 (No.7～10)、学外講師・下川 健一 (No.11～14)

■課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

期末試験の成績（100％）で評価する。